



松柏中学校アーカイブ通信 第1号 2024年4月16日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克
(タイトルの背景は旧校舎)

通信の発刊について

3月29日、市庁舎で愛宕、松柏、八代の3中学校の統合合意調印式が行われました。これにより、正式に1年後の松柏中学校の閉校が決まりました。

新年度が始まり、生徒も教職員も、そして関係する多くの方々も「松柏中最後の1年」と声に出し、今年1年頑張ろうという意気込みを示しました。閉校を意識した学校内外の様々な活動が始まるわけですが、学校・生徒側と保護者や地域の方々とを結ぶささやかな架け橋になればと思い、昨年度から「アーカイブ活動」を進めてきた山村がこの紙面の発行を思いつきました。以下のような目的・思いで発行していきたいと思えます。【写真は1973年頃と思われる「正門」での登校風景です。】



- 1 松柏中および校区の歴史をひもとくことで、松柏中学校への思いを呼び起こし、愛校心や母校愛を確かなものにしたい。
- 2 世代を超えて、卒業生はもちろん、松柏中学校及び松中生を見守ってくださる人々の思いや存在を明らかにしたい。
- 3 学校内外の行事や学習を通して、生徒と教職員が調べ、集めた成果を発信したい。
- 4 文化祭や関連行事、「閉校記念誌」(タイトルは未定)で紹介したり、掲載したりできる資料集めの呼び掛けを行いたい。

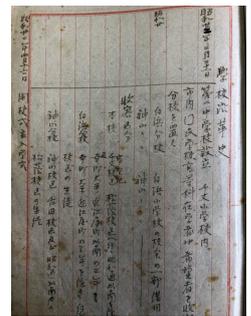
特にお願いしたいのが4番の資料集めです。

松柏中学校に関する情報や資料をお寄せください！

年明けのことでした。「閉校記念誌」のことが、三つの中学校でそれぞれ話題になっていました。真穴中学校や長谷小学校など、過去の市内の小中学校の記念誌の体裁は、年度ごとの卒業生氏名や集合写真、教職員名簿、主な出来事という形でした。ところが、本校校長室の書庫には1972年度以前の卒業アルバムがないのです。

2月になって、書庫の奥から「学校沿革史」と題した創設時からの簡単なメモが見付かり(写真右上)、卒業生名簿も見付かりました。卒業生名簿については、ICT支援員の尽力で、昨年度中に入力を終了しました。

さて、肝心の学校生活と写真です。卒業年度ごとのクラス写真等が残っていません。また、学校生活についても、1970年代の卒業アルバムは写真が小さく、ページ数も少ない現状です。昔の松柏中の様子を撮った写真等は、今年度末に発行を予定している「閉校記念誌」の紙面はもちろん、何らかの記念行事で活用したいと考えています。次号で、具体的にどのような情報が必要か、提供していただくデータの体裁等について詳しく提案します。



随時紹介 【松柏中学校の卒業生紹介】 第1回

西本満俊さん (1964年度卒業生・長谷地区出身)

現在は愛媛県農協中央会会長です。県内JAのトップとして、昨年からの春にかけて、様々なメディアに登場しています。昨年度からは全国農協中央会(JA全中)の理事も務めています。(愛媛新聞「えひめリーダーの愛読書」、西宇和農業協同組合広報紙「たちばな」4月号、日本経済新聞、愛媛新聞他多数)